

# アスリーートの頑張る姿

名古屋市立平針中学校 2年

宇井 楓 翔

## カウンントダウンボード

### 高校生らが制作

9月22日59月24日  
までの3日間、愛知県内各所で「スポーツパルオリリンピック」本夏季十シヨナルゲーム・愛知が開催される。



開催に先立ち名古屋市立工業高等学校の生徒4人が約2ヶ月かけて制作したカウンントダウンボードを先日お披露目した。デザインや制作にあたってどんな思いで努めたかという質問には、「高校最後の1年にこの学校でしかできないことをしたくて参加した。今まで学校で勉強したことでも生かして自分の中で一番良い作品に仕上げたい」と笑顔で語った。

スポーツパルオリリンピックは日本夏季十シヨナルゲームは1995年、熊本県で第1回が開催され4年に1度大会を開催してきた。

そして今回、第7回が愛知で開催される。今回の大会では過去最多の参加人数で、アスリートは165名、ユ一キ他は約550名である。9会場、13競技で10歳52歳のアスリートが日頃の練習の成果を発揮する。

今回の大会のテーマは「超える喜び」。アスリート1人1人がそれぞれの目標を超えて、喜びを感じることが大切である。

### 大会理事長 有森裕子さん



理事長である有森裕子さんは障害のある方々の考えとの違いに注目してほしい。チャンスがあればできることを分かってもらいたい。チャンスによる変化を信じて応援してほしい」と語った。「世界記録ではなく、アスリートたちの頑張る姿をみてほしい」と有森さんほつづけた。

### 編集後記

私は、スポーツパルオリリンピックのことを知らなかった。なので今回知ることができてとても良かったです。オリリンピックというワードが入っているけれど、記録ではなく頑張る姿を、というのには本当にすばらしいと思います。そして今回の会見に参加して間近でたくさんのお話を聞くことができて良かったです。

